

國際勞働會議ノ決議ハ要スルニ勞働條件ノ國際的一致ニ  
 アル。然ルニ之ガ批准實施ガ行ハレズシテ徒ラニ總會ノ  
 議ヲ重ヌルカ如キハ之レ明ニ全勞働階級ノ要求ヲ國際意  
 下社會正義ノ名ニ籍リテ購着スルモノニシテ我等ハ斷  
 反對セザルヲ得ナイノデアアル。  
 日本政府カ今後是等條約案並ニ勸告案ヲ批准實施ニ意  
 致悉ト努力ヲ怠リ、其權化アル機關ヲ所感議會トシテ  
 密院ナリト主張ヲ以テ之カ批准ヲ徒ラニ延引スルノ意  
 持續スルナラバ我等全勞働組合ハ斯ノ如キ延擱ヲ停止  
 必要ナル議會ニ對シ、勞働代表ノ派遣ヲ停止シ以テ國際  
 勸會議ヲ無視スルノ態度ヲトルニ至ルデアロウ。  
 右決議ス。

一 主なる運動 本年一月議會開會中、總同盟婦人部、關  
 東紡織労働組合主催、條約中婦人夜業禁止請願運動  
 ヲ援助シ十万人ノ請願書を議會ニ提出シ、大ニ興論  
 ヲ起スル所があつた。  
 本年國際勞働總會ニ代表權崎猪太郎氏、松岡同盟會長  
 間として出席シ、大ニ日本政府ノ無誠意を難詰シ、社界的  
 大問題とした。

### 九、失業保險法實施を政府に要求する件

一 昨年九月關東同盟大會提案マレ左の決議文を各當路の  
 大官に送つた。

#### 決議文

日本勞働總同盟關東同盟會カ十四年度大會は、政府が速  
 に失業保險法の實施を遂げ、以テ現下の失業者を可及的に  
 救済せん事を要求す。